



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

関西支部の活動紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会関西支部の主な支部行事は、「関西界面科学セミナー」と「関西コロイド・界面実践講座」の2つです。コロイド・界面化学の基礎を学ぶ場としては、部会が主催する「界面コロイドラーニング」が2010年度から大阪でも開催されています。本号の部会だよりでは、関西支部で実施している「関西界面科学セミナー」と「関西コロイド・界面実践講座」の活動について紹介させていただきます。

関西界面科学セミナー

毎年夏にコロイド・界面化学分野を基礎から学ぶ場として「関西界面科学セミナー」は開催されています。1983年に開始され、今回で第38回となる伝統あるセミナーです。ここ数年のテーマ例では、「界面科学・分散技術の基礎と最先端研究」、「不思議な界面を創る・調べる・使う—メゾスコピック界面の設計とその挙動」、「界面活性剤・両親媒性物質の基礎と今後の潮流：界面活性剤による新しい価値の創造」など、コロイド・界面化学分野における主要なトピックを取り上げてきました。この分野でご活躍中の気鋭の研究者の方々に基礎から応用までをわかりやすく解説していただく基礎セミナーとなっております。

また、関西界面科学セミナーは、コロイド・界面化学分野に関わる若手・学生を育成する場としても位置づけており、講演会だけでなく、若手・学生によるポスター発表会を実施し、優秀なポスター発表には、審査・選考をへてポスター賞

を授与しています。部会誌であるC&IのInterfaceで紹介された若手研究者を招待講演にお招きすることもあります。

しかし本年度は、今般の新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大懸念の影響を受けて、夏に「関西界面科学セミナー」は開催できませんでした。第71回コロイドおよび界面化学討論会をはじめ多くの学会の討論会や年会はオンライン開催となりました。このような社会情勢の中、セミナーをオンラインで開催する企業や学術団体が増え、学びの機会が増えたプラス面もあります。他方、若手・学生の学会での口頭発表の機会が減っており、若手・学生にとって重要な口頭コミュニケーション力を身につける口頭発表の機会が少なくなっています。そこで、関西支部では、本年度はコロイドおよび界面化学に関わる若手・学生による「質疑・討論を含む口頭発表」を中心とした研究発表・討論会として、第38回関西界面科学セミナー：若手・学生研究発表・討論会（2021年1月9日（土）オンライン開催）を開催することにしました。特別講演として、河合武司先生（東京理科大学）「長鎖アミドアミン系界面活性剤の発色・ゲル化・ソフトテンプレート機能」、山本雅博先生（甲南大学理工学部）「コロイド化学における基本相互作用：van der Waals力と電気二重層の現代的な解釈」にご講演していただく予定です（詳細は、部会HPをご参照下さい）。

<https://colloid.csj.jp/202010/2020kansai-winter/>

関西コロイド・界面実践講座

主に企業部会員の意見を元に産業界に

おけるコロイド・界面化学を活かした製品や関連技術に関する話題を提供する場として「関西コロイド・界面実践講座」を、例年、秋～冬期に実施しています。本講座は、1996年に開始されました。最近では、「乳化系および分散系の基礎と評価法～すぐに役立つ即戦講座～」、「ソフト系の分散・凝集の評価法とその制御」、「基礎から学ぶ分散・凝集とその応用～学理と実践・測定～」など、分散・凝集に関わるテーマを中心に取り上げてきました。コロイド・界面の基礎や先端研究から、どのように技術創出につながっていくかについて、事例を挙げながらご講演いただいています。本実践講座は、毎年、参加者が多く人気の講座となっております。

おわりに

関西支部は、近畿およびその周辺地域から26名の方が支部委員として活動しています。大学・公的機関だけでなく多くの企業の研究・技術者が参加しており、産学官が協力して支部運営されているのが特徴です。

コロイド・界面化学の「基礎から応用まで」を広く深く学ぶ機会、そして産学官の研究・技術者、そして学生が交流・情報交換できる場を提供できるように企画を心がけて運営しています。今後とも関西支部の活動にご支援をよろしくお願い申し上げます。

〔2020年度関西支部長 川崎英也
（関西大学化学生命工学部）〕

© 2021 The Chemical Society of Japan